

輕部草履株式会社



KARUBE ZŌRI
Traditional Japanese Sandals

www.karubezouri.com

会社概要



- 名称 軽部草履株式会社
- 設立 1913年（年株式会社化）
- 資本金 1000万円

- 所在地 山形県寒河江市中央工業団地5-1
- 代表者 軽部陽介
- 従業員 9名

事業内容

天然素材を用いた手編み草履の製造と販売

使用する原材料

- ・ 竹皮
- ・ 稲藁
- ・ トウモロコシ皮
- ・ ラフィア繊維

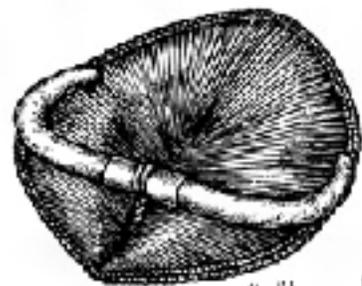
弊社製品の使用される場所

- ・ 全国の祭事
- ・ 大相撲三役格行司様
- ・ 江戸消防組合様
- ・ テレビ、映画の時代劇等
- ・ 高級旅館 など

沿革

- 1913年 山形県河北町天満にて個人商店の設立
- 1948年 分家により寒河江市八鍬で事業を継続
- 1975年 初代、軽部健太郎の急逝により二代目軽部俊男が代表となる
- 1986年 初めての中国での技術指導
- 1988年 中国において提携会社の設立
- 1993年 軽部草履株式会社設立
- 2001年 工場設備を寒河江市中央工業団地に移設
- 2019年 軽部陽介が代表取締役役に就任

草履の歴史と伝来について



総太



足半



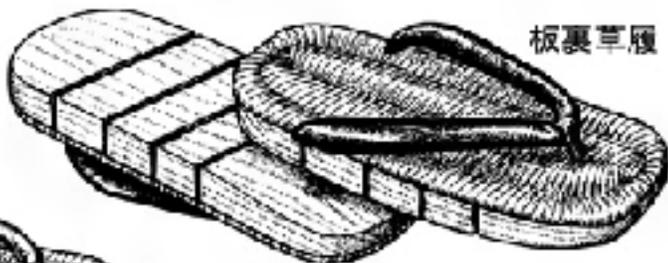
藁草履



麻裏草履



中貫草履



板裏草履



雪駄



女物の草履(現在)

出展：小学館

日本大百科全書(ニッポニカ)より

足半草履（稲藁）



金剛草履
(藺草)



竹皮草履の始まり

竹皮の原料について



竹皮草履



数寄屋草履
(露地草履)



竹皮雪駄



雪駄表が出来るまで



出展：津島に生きる伝統の技 雪駄作り・この道一筋(木村義信商店)

資料：愛知県津島市立図書館

山形草履について

寸決め



圧搾



編み込み



天日干し



近代の竹皮草履について
皮白竹の枯死と代替材料の棕櫚

棕櫚表について



棕櫚表の活用例



軽部草履の原料調達について

現在の竹皮の

調達地：中国（長江流域）

問題点：環境の悪化、毎年の異常気象による
収穫量の減少。

また、仕事の多様化による竹産業に
関わる人の減少。

新しい調達地の候補について

軽部草履がこれまでに調査を行った国は、

- マダガスカル（交流を継続中）
- タンザニア
- ベトナム（現在も調査中）
- カンボジア

となっており、最も有力であると思われるのはベトナムである。



ベトナムの他国に対しての優位点

- ①国内の竹林面積の大きさ
- ②南北に大きな国であるため、気候にも差があり、品種が豊富である
- ③多雨な環境のため、竹の生育に必要な水分が不足することが無い
- ④手編み産業が発展しており、今後の生産拠点としても有望である

竹皮草履の需要と材料の安定的な供給

マダガスカル国での調査の様子



タンザニア国での調査の様子



ベトナム国での調査の現状



これからの竹皮草履の活用について

室内履き
竹皮草履・和



竹皮草履サンダル
円竹



室内履きとしての草履の需要

- 近年の健康志向の高まりにより、「鼻緒の履物」が良いという考えが広がっています。
- 竹皮の抗菌効果で夏の室内履きとして人気。
- 差別化を図りたい高級旅館等の館内履きに使用されるケースも増えており、売店でのお土産としての販売も好調。
- 最近では外国でも「ルームシューズ」の良さが広がり、日本のお土産として購入される事が多い。
- 草履＝外履き、和装といった固定観念にとらわれない、柔軟なものづくりが必要になると考えます。



ご清聴ありがとうございました。